

2022年11月4日

第33回 大樹生命協賛 University of Michigan Mitsui Life Financial Research Center 国際シンポジウム開催のお知らせ

～テーマ 岸田政権誕生から1年－「新しい資本主義」の評価－～

大樹生命保険株式会社（代表取締役社長 吉村 俊哉）は、米国ミシガン大学ロス・ビジネススクール Mitsui Life Financial Research Center が主催するシンポジウム（略称「第33回 大樹生命協賛 ミシガン大学国際シンポジウム」）に協賛するとともに、本シンポジウムへの参加をご希望される方のお申込みの受付を開始しますので、お知らせします。

記

1. 開催概要

日 時	2022年12月7日（水）13:00～15:30
開催方法	Zoom によるオンライン開催（ウェビナー形式）
テーマ	岸田政権誕生から1年－「新しい資本主義」の評価－
参加費	無料
定 員	200名（定員になり次第、受付を締め切らせていただきます）
主 催	ミシガン大学ロス・ビジネススクール Mitsui Life Financial Research Center
協 賛	大樹生命保険株式会社

2. プログラム

12:45～	Zoom ウェビナー入室開始
13:00～13:10	開会 主催者挨拶：Andrey Malenko（ミシガン大学ロス・ビジネススクール Mitsui Life Financial Research Center Director） 祝 辞：吉村 俊哉（大樹生命保険株式会社 代表取締役社長）
13:10～13:30	問題提起 「新しい資本主義とは」 若杉 敬明（Mitsui Life Financial Research Center Co-director、 東京大学名誉教授）
13:30～15:20	パネル・ディスカッション『岸田政権誕生から1年－「新しい資本主義」を巡って－』 モデレーター：若杉 敬明（前出） パネリスト：小野塚 恵美（エミナントグループ株式会社代表取締役社長 CEO） 安田 洋祐（大阪大学大学院経済学研究科教授） 吉川 洋（東京大学名誉教授）
15:30	閉会

3. お申込み方法

本シンポジウムへの参加をご希望される方は、こちらの QR コードを読み取りいただくか、以下 URL より参加登録をお願いします。

URL : https://intergroup.zoom.us/webinar/register/WN_lpoY_rcLRweoMlq3Ao4V0w#/registration

申込み締切：11 月 30 日（水）



4. お問い合わせ先

シンポジウムの開催に関し、ご不明な点等ございましたら、以下事務局までご連絡ください。

第 33 回 大樹生命協賛 ミシガン大学国際シンポジウム 事務局
(大樹生命保険株式会社 企画部 調査グループ内)

電 話 03-6831-8050

E-mail Kouhou@taiju-life.co.jp

ミシガン大学ロス・ビジネススクール

Mitsui Life Financial Research Center について

Mitsui Life Financial Research Center は、E・ハン・キム教授（ロス・ビジネススクール教授）および若杉敬明名誉教授（当時 東京大学経済学部教授）の尽力の下、1990（平成 2）年 9 月、当時の三井生命（現 大樹生命）の寄付により、ミシガン大学ビジネススクール（ミシガン州アナーバー）内の研究機関として創立されました。

当初の目的として、環太平洋地域（アジア・アメリカ）の金融資本市場の発展を掲げましたが、その後ファイナンスおよび金融経済学全般に活動の幅を広げ、ワーキングペーパーの刊行、研究助成金および奨学金等による研究支援を行ってきました。それとともに、ファイナンスに関する国際シンポジウムを日米で定期的を開催しており、その活動は世界のファイナンス学界で高い評価を得ています。

なお、ミシガン大学ビジネススクールは、2004 年（平成 16 年）9 月、多額の寄付を行った卒業生スティーブン M. ロス氏にちなんで、「ロス・ビジネススクール（Stephen M. Ross School of Business at the University of Michigan）」と名称が変更されました。

別紙

ミシガン大学ロス・ビジネススクール



第 33 回 大樹生命協賛

University of Michigan

Mitsui Life Financial Research Center

国際シンポジウム

* テーマ *

岸田政権誕生から 1 年ー「新しい資本主義」の評価ー

日時：2022 年 12 月 7 日（水）13:00～15:30

開催方法：Zoom によるオンライン開催（ウェビナー形式）

参加費：無 料

主催：Mitsui Life Financial Research Center at the University of Michigan Stephen
Ross School of Business

協賛：大樹生命保険株式会社

開催にあたって

1990年、弊社の寄付によって設立されたMitsui Life Financial Research Centerは、ミシガン大学ロス・ビジネススクールの主要な研究機関の一つとして、主にファイナンス、金融経済学に関する分野を中心に最先端の調査・研究活動を行っております。その一環として、米国では毎年、東京では1年おきに、こうした国際シンポジウムを開催しております。

弊社では、その社会的意義に賛同し、1990年の同Center創立以来、東京で開催される国際シンポジウムの開催を支援してまいりました。

第33回目を迎える本シンポジウムは『岸田政権誕生から1年ー「新しい資本主義」の評価ー』というテーマで開催いたします。

最初に問題提起として、同Center Co-director・東京大学名誉教授の若杉敬明教授より、今日にいたるまでの資本主義の歴史をひも解きながら、岸田内閣が掲げる「新しい資本主義」の性格を概説し、その意義をご紹介します。

続くパネル・ディスカッションでは、3名の有識者をお迎えし、「新しい資本主義」に関する諸政策の現状や、現在までの評価、今後の目指すべき方向性等について議論していただきます。多彩なパネリストの方々が、それぞれのお立場から示唆に富んだ議論をしていただけるものと期待しております。

岸田内閣が発足して1年あまりが経過し、2022年6月には「骨太の方針」および「新しい資本主義」実行計画の閣議決定等を通じ、岸田内閣の進める経済財政政策の概要が示されました。一方で、2年以上に亘るコロナ禍、急激な円安の進行、ウクライナ情勢など、我々を取り巻く環境は厳しいものがございます。このような中、日頃弊社がお世話になっております皆さま方におかれましても、今回のテーマは非常に大きな関心を寄せられている事項であると考えております。今回のシンポジウムが、ご参加いただいた皆さまにとりまして有益なものとなり、少しでもお役に立てれば幸いです。



2022年12月7日

大樹生命保険株式会社
代表取締役社長 吉村 俊哉

プログラム

第33回 大樹生命協賛 University of Michigan Mitsui Life Financial Research Center 国際シンポジウム

12:45 Zoom ウェビナー入室開始

13:00 開会

主催者挨拶 Andrey Malenko (ミシガン大学ロス・ビジネススクール
Mitsui Life Financial Research Center Director)

祝辞 吉村 俊哉 (大樹生命保険株式会社 代表取締役社長)

13:10 問題提起 「新しい資本主義とは」
若杉 敬明 (Mitsui Life Financial Research Center Co-director、
東京大学名誉教授)

13:30 パネル・ディスカッション
『岸田政権誕生から1年ー「新しい資本主義」を巡ってー』
モデレーター 若杉 敬明 (前出)

パネリスト 小野塚 恵美 (エミネントグループ株式会社代表取締役社長 CEO)
(敬称略) 安田 洋祐 (大阪大学大学院経済学研究科教授)
吉川 洋 (東京大学名誉教授)

15:30 閉会

シンポジウムの概要

2021年9月の自由民主党総裁選において、公約として三つの政策、①コロナ対策、②新しい日本型資本主義、③外交・安全保障政策、を掲げて勝利した岸田文雄総裁は10月4日岸田内閣を発足させた。その目玉の経済政策が「新しい資本主義」である。

2022年6月7日、自ら「骨太の方針」とよぶ『経済財政運営と改革の基本方針 2022』が閣議決定し「新しい資本主義へ～課題解決を成長のエンジンに変え、持続可能な経済を実現～」を宣言した。骨太方針は、機動的なマクロ経済運営によって経済回復を実現しながら、新しい資本主義の実現に向けた計画的で重点的な投資や規制・制度改革を行い、成長と分配の好循環を実現する岸田内閣の経済財政政策の全体像を示すものである。（内閣府ホームページ）

併せて「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画～人・技術・スタートアップへの投資の実現～」と題する骨太方針報告書が発表された。それによると、「新しい資本主義」に至った認識は次の通りである。

18世紀後半に成立した資本主義は、当初は自由放任主義を基本精神としていたが、第一次世界大戦を経て社会保障を重視し国家の介入を受容する福祉国家主義に変わった。しかし、第二次大戦後は再び「自由」が尊ばれることになり[新自由主義]が世界を席巻することになった。自由が世界的なレベルで貫徹され、現代のグローバル資本主義が世界経済を動かすことになった。

新自由主義は、成長の原動力の役割を果たしたと言えるが、他方で、経済的格差の拡大、気候変動問題の深刻化、過度な海外依存による経済安全保障リスクの増大、人口集中による都市問題の顕在化、市場の失敗等による多くの弊害も生んだ。

市場経済にすべてを委ねる現代の資本主義を変えなければならない。それを実現するための経済政策が「新しい資本主義」である。ただし、資本主義を超える制度は資本主義でしかあり得ない。「新しい資本主義」は、もちろん資本主義である。『「新しい資本主義」を貫く基本的な思想』は、①「市場も国家も」、「官も民も」によって課題を解決すること、②課題解決を通じて新たな市場を創る、すなわち社会的課題解決と経済成長の二兎を実現すること、③課題解決を通じて国民の暮らしを改善し一人ひとりの国民の持続的な幸福を実現すること、である。

「これからは**官民連携**つまり官の力、民の力を合わせて『**新しい資本主義**』を運営しなければならない。そこでは従来以上に**経済成長を重視**する。同時に分配の公平を達成し**分配が成長の源泉**になるようにする。そのためには**賃上げ**をすると同時に**人への投資**を促進し、人の稼ぐ力を底上げする。また首都圏への一局集中をIT化等により解消し、**地域振興による多極化社会**を実現する。これにより貧富の差・地域間格差を解消し**公平な社会を実現**する。」これが「新しい資本主義」のエッセンスであろう。

限られた時間であるがパネル・ディスカッションにおいては、多様なバックグラウンドを持つパネリストに様々な視点から「新しい資本主義」について論じていただく。

Mitsui Life Financial Research Center
Co-director 若杉敬明

プロフィール（敬称略）



お の づか え み
小 野 塚 恵 美

エミネットグループ株式会社
代表取締役社長 CEO

1998 年 JP モルガン銀行入行。マーケットリスク管理業務に従事。
2000 年よりゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社において多岐にわたる資産運用業務に従事。2016 年からは日本におけるスチュワードシップ責任推進の統括として ESG（環境・社会・ガバナンス）リサーチ、企業との対話を年間 200 社以上実施。
2020 年 4 月カタリスト投資顧問株式会社 取締役副社長 COO に就任。
2021 年 7 月よりマネックスグループ ESG/サステナビリティ推進タスクフォースリーダー
2022 年より現職。

金融庁 サステナブルファイナンス有識者会議委員
経済産業省 非財務情報の開示指針研究会委員
内閣府 知財投資・活用戦略の有効な開示及びガバナンスに関する検討会委員
一般社団法人 科学と金融による未来創造イニシアティブ 代表理事
ジャパン・スチュワードシップ・イニシアティブ（JSI）初代運営委員長
WICI ジャパン統合レポート・アワード審査員

著書・執筆論文等

- ・「企業は投資家とどう対話すべきか」（単著）企業会計 2019 年 11 月号
- ・「ESG 開示からみる統合報告書のあり方」（共著）証券アナリストジャーナル 2021 年 11 月号）
- ・「サステナブルファイナンス原論」（共訳）きんざい
- ・「社会を変えるインパクト投資」（共訳）同文館出版

日経新聞、NewsPicks、Bloomberg、Financial Times、Japan Times など 国内外多数メディアに登場

プロフィール (敬称略)



やす だ よう すけ
安 田 洋 祐

大阪大学大学院経済学研究科教授

2002 年東京大学経済学部卒業。最優秀卒業論文に与えられる大内兵衛賞を受賞し経済学部卒業生総代となる。米国プリンストン大学へ留学して 2007 年に Ph. D. (経済学) 取得。政策研究大学院大学助教授、大阪大学大学院経済学研究科准教授、リスボン大学客員研究員などを経て、2022 年 7 月より現職。2020 年に Economics Design Inc. を共同で創業。専門は戦略的な状況を分析するゲーム理論、市場や制度を設計するマーケットデザイン。

環境省「カーボンプライシングの活用に関する小委員会」、経済産業省「GX リーグにおける排出量取引に関する学識有識者検討会」、総務省「Web3 時代に向けたメタバース等の利活用に関する研究会」「情報通信経済研究会」、内閣府「国家戦略特区ワーキンググループ」の委員を務めている。過去に、金融庁「決済業務等の高度化に関するワーキンググループ」、「決済業務等の高度化に関するスタディグループ」の委員や朝日新聞論壇委員を歴任。

関西テレビ「報道ランナー」、フジテレビ「とくダネ!」、読売テレビ「情報ライブ ミヤネ屋」、テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」、NHK 総合「ニュースウェブ」、NHK BS1「欲望の資本主義」、E テレ「オイコノミア」等の番組にコメンテーターとして出演。

著書・執筆論文等

- ・『そのビジネス課題、最新の経済学で「すでに解決」しています。』（共著）日経 BP, 2022.
- ・『資本主義はどこに向かうのか 資本主義と人間の未来』（共著）日本評論社, 2019.
- ・『学校選択制のデザイン ゲーム理論アプローチ』（編著），NTT 出版, 2010.
- ・「経済学で考える市場を通じた分配の可能性」法律時報, 2021.
- ・「持続可能性と資本主義の未来 格差・技術・環境から考える」財政と公共政策, 2019.
- ・Oligopolistic Equilibrium and Financial Constraints (共著)，RAND Journal of Economics, 2020.
- ・Resolving Conflicting Preferences in School Choice: The “Boston Mechanism” Reconsidered (共著)，American Economic Review, 2011. ほか多数。

プロフィール（敬称略）



よし かわ ひろし
吉 川 洋

**東京大学名誉教授
独立行政法人経済産業研究所
ファカルティフェロー**

ケインズ経済学的なマクロ経済理論と、日本経済とりわけ 1990 年代以降の日本経済の現状分析を主たる研究課題としている。

最近は、（1）急速な少子・高齢化と人口減少の下での日本経済の潜在成長率、（2）財政再建と社会保障制度の持続可能性、（3）マクロ経済学への統計力学的アプローチに関心をもっている。2010 年 11 月紫綬褒章受章。

1993 年 東京大学経済学部教授。

2009 年 東京大学大学院経済学研究科長・経済学部長。

2016 年 立正大学経済学部教授。同年 東京大学名誉教授。

2017 年 財務省財務総合政策研究所名誉所長。

財務省財政制度等審議会臨時委員

厚生労働省社会保障審議会委員

税制調査会委員

内閣府景気動向指数研究会（旧経済企画庁景気基準日付検討委員会）委員

経済産業省産業構造審議会 委員

東京大学出版会理事

日本経済研究センター理事 等を歴任

著書・執筆論文等

- ・『マクロ経済学の再構築 ケインズとシュンペーター』岩波書店，2020.
 - ・『マクロ経済学（第4版）』岩波書店，2017.
 - ・『人口と日本経済』中公新書，2016.
 - ・『デフレーション』日本経済新聞出版社，2013.
 - ・『高度成長 日本を変えた 6000 日』中公文庫，2012.
 - ・『少子高齢化の下での経済活力』日本評論社，2010.（編著）
 - ・『デフレ経済と金融政策』慶応義塾出版会，2009.（編著）
 - ・『マクロ経済学（第3版）』岩波書店，2009.
 - ・『いまこそ、ケインズとシュンペーターに学ぶ』ダイヤモンド社，2009.
- 等、多数の著書・論文を執筆

プロフィール (敬称略)



わか すぎ たか あき
若 杉 敬 明

東京大学名誉教授
ミシガン大学ロス・ビジネススクール
Mitsui Life Financial Research Center
Co-director
日本コーポレートガバナンス研究所
代表理事

専門はファイナンスおよびコーポレートガバナンス。
現在、地方公務員共済組合連合会運用基本問題研究会 座長
地方公務員共済資金運用委員会 座長
住宅金融支援機構事業運営審議会 委員長
日本年金数理人会 評議員
石井記念証券研究振興財団 理事
電気通信普及財団 理事 等々。

これまでに、日本経営財務研究学会 会長
証券取引審議会・社会保障審議会・国民生活審議会・郵政審議会等の各委員
(株)リコー取締役、日本水産(株)取締役、J F Eホールディングス(株)監査役、
(株)ドコモ監査役等を歴任。

著書・執筆論文等

- ・著書「新版 入門ファイナンス」(中央経済社)
- ・監訳「プライベート・エクイティ」(中央経済社)
- ・共著「グッド・ガバナンス グッド・カンパニー」(中央経済社)
- ・共著「コーポレートガバナンス・マニュアルー21世紀日本企業の条件ー」
(中央経済社)
- ・共著「コーポレートガバナンスにおける商法の役割」(中央経済社)
- ・「株主が目覚める日ーコーポレートガバナンスが日本を変えるー」
(商事法務)
- ・「企業財務」(東京大学出版会) ほか多数。

Mitsui Life Financial Research Center について

- 名 称 : Stephen M. Ross School of Business at the University of Michigan
Mitsui Life Financial Research Center
ミシガン大学ロス・ビジネススクール
Mitsui Life Financial Research Center
- 所在地 : 米国ミシガン州アナーバー
- 設 立 : 1990 年 9 月 21 日
- 経 緯 : 三井生命保険相互会社（現 大樹生命保険株式会社）によって寄付された基金により、ミシガン大学ロス・ビジネススクールの一研究機関として設立
- 活 動 : Mitsui Life Financial Research Center は、ミシガン大学ロス・ビジネススクールの一研究機関として、その教授陣、大学院生および客員研究員に対してファイナンス研究の場と環境を提供することを目的として、大樹生命の寄付により設立されました。

E・ハン・キム教授（ロス・ビジネススクール教授）、若杉敬明名誉教授（当時 東京大学経済学部教授）の両理事の下、当初、環太平洋地域（アジア・アメリカ）の金融資本市場の発展を掲げ活動してきましたが、その後ファイナンスおよび金融経済学全般に対象を広げており、その活動は世界のファイナンス学界で高い評価を得ています。

学内ではワーキングペーパーの発行や研究成果のデータベース化、並びに若手教授および大学院生への研究助成や奨学金の支給などを通して、ロス・ビジネススクールのファイナンス研究および教育に大いに貢献してきました。

こうした活動と並行して、毎年、ミシガン大学においてファイナンスに関するアカデミックな国際ファイナンスシンポジウムを開催してきました。また、東京では1年おきに、広く一般の方々を対象に、その時々の特ピックスを分かりやすく取り上げてシンポジウムを開催しており、毎回好評を頂いております。